

「EPISTULA」:
古典ラテン語で“手紙”という意味です。
広報室からみなさまへ、
芸文短大の“いま”を伝えるお手紙を
お届けします。



大分県立芸術文化短期大学広報誌
エピストゥラ

Epistula

特集

音楽科定期演奏会に向けて



【表紙モデル】

(左から) [短大] 音楽科 (ピアノコース) 2年 楠田 莞晴さん
[専攻科] 音楽専攻 (ピアノコース) 2年 田村 捺実さん
音楽専攻 (ピアノコース) 1年 剥岩 霞さん

EVENT CALENDAR

9 SEP.	10 OCT.	11 NOV.	12 DEC.
18 sat 大分郷土玩具 浜の市「一文人形」 絵付け体験 ワークショップ	6 wed シンポジウム 「屋外彫刻を さわる時間」	6 sat 作曲作品展	3 fri 芸短音楽科 コンサートシリーズ No.113 「管弦打コース 演奏会 ～師走に心温まる ひとときを～」
18 sat オープンキャンパス	10 sun 第57回 定期演奏会	10 wed 芸短音楽科 コンサートシリーズ No.112 「ピアノコース演奏会 ～ピアノ音楽への 誘い～」	8 wed オペラサークル Opera Piena di Vita 第31回公演 オペラ・オペレッタ 名場面集
19 sun オープンキャンパス	16 sat A.ベヴェラリ氏 公開マスタークラス	予定 人文系30周年 記念事業 「大分のスポーツと 国際交流 シンポジウム」 :ラグビーセッション キャノンイーグルスが 大分にやってくる (仮題)	22 wed モーツァルト作曲 オペラ 魔笛 (日本語版)
21 tue 後期授業開始			25 sat 冬期休業開始
22 wed 芸短音楽科 コンサートシリーズ No.111 「若さあふれる コンサート ～前期試験 成績優秀者による～」			

*各イベントは変更になる場合があります。

PICKUP EVENT

新しいことに挑戦しませんか!

芸短オープン カレッジ

ON LINE
受講者募集中です

本学では、地域社会と生涯学習の機会を提供することを目的とした「芸短オープンカレッジ」を開講しています。心を豊かにする美術講座や情報発信技術の向上を目指す講座など本学ならではの講座に挑戦してみませんか?
※本講座はzoomを用いたオンライン講座です。オンライン環境を整備のうえ、ご受講ください。



1 日本画体験 全3回
ネット講座～プチプチ
11/20(土)・11/27(土)・12/4(土)
9:00～12:30
募集締切 2021年9月30日(木)
受講料 2,500円(高校生以下1,000円)
材料費 7,500円 定員 20名

2 YouTuber 養成講座 全7回
10/16～11/27 毎週土曜日
9:00～12:00
募集締切 2021年9月30日(木)
受講料 9,200円
定員 10名

◎受付は先着順で、定員になり次第、締切とさせていただきます。◎申し込みが一定人数に満たない場合は、開講しないことがあります。その場合、受講料は返金いたします。◎指定期日までに受講料の入金が確認できない場合は、受講資格が取り消しとなります。◎お申し込み後、受講を取りやめでも受講料は返金いたしません。予めご了承ください。

申し込み・お問い合わせ
〒870-0833 大分県大分市上野丘東1-11
大分県立芸術文化短期大学
芸短オープンカレッジ担当

TEL 097-545-0542 (平日9:00～17:00)
FAX 097-545-0543 HP www.oita-pjc.ac.jp

大分芸短オープンカレッジ 検索

情報をいち早く Get!

大分県立芸術文化短期大学	OITA GEITAN VISUAL DESIGN	美術科 グラフィックアートコース	美術科 プロダクトデザインコース	音楽科	国際総合学科	情報コミュニケーション学科
QRコード	QRコード	QRコード	QRコード	QRコード	QRコード	QRコード

大分県立芸術文化短期大学の公式 Facebookでは、本学が主催するイベント・展覧会等のお知らせをはじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行うさまざまな活動について報告しています。また、サークルやイベント、研究室等でも Facebookを立ち上げています。
芸短大 検索 <https://www.oita-pjc.ac.jp>

定期演奏会に向けて



E・グリーク…ピアノ協奏曲イ短調 作品16



音楽科最大のイベント「第57回定期演奏会」を10月10日(日)にiichiko総合文化センターiichikoグランシアタで開催します。演奏はもちろん、当日のスタッフなど音楽科在学生・卒業生・教職員が丸となって作り上げていく演奏会です。ソリストはピアノ～管弦打～声楽と毎年代わり、今年はピアノに焦点を当てた構成です。今月の表紙を飾るソリストに選ばれた学生3名に、演奏する曲の魅力や定期演奏会へ向けた意気込みを伺いました。

【演奏曲について教えてください】

(剥岩) グリークはノルウェーを代表する作曲家です。ライプツィヒ音楽院へ留学し、卒業後はノルウェーに戻り作曲家・ピアニストとしてデビューしました。ノルウェーの自然や民族への思いに導かれながら創作の筆を進め、国民楽派のひとりとしても知られています。

(楠田) 演奏曲はエドヴァルド・グリークが二十五歳の時、デンマークのセレスに訪問し作曲した曲です。第一楽章の冒頭部の迫力のあるピアノのフレーズ、第二楽章の弦楽器の柔らかい旋律と高音が輝くピアノ、第三楽章の中間部のフルートの美しい旋律と終盤のオーケストラの豊かな響きと迫力など、音楽的な特徴がたくさんあります。

【担当する楽章の好きなところ、聴きどころを教えてください】

(剥岩) 私が第一楽章で特に好きなところは、木管楽器に続いてピアノが繰り返す第一主題です。北欧民謡風で哀愁漂う旋律がとて心に残ります。同じ旋律を違う楽器で奏でることは協奏曲ならではの、注目して聴いてみると面白いと思います。

(楠田) 第三楽章の中間部のフルートの旋律がとても好きです。なんととっても美しいということ、どこか北欧風に聞こえるあの旋律が一度聴くと耳から離れません。

【定期演奏会に向けた意気込みや本番に向けての思いを教えてください】

(剥岩) 定期演奏会のソリストに選んでいただいたことは私にとって奇跡のようなことです。私にソリストが務まるのかと不安な気持ちもありますが、このような貴重な機会をいただけて嬉し気持ちです。また、ピアニストとして尊敬している二人と同じ舞台上に立てることをとても楽しみにしています。支えてくださるすべての方への感謝の気持ちを忘れずに努力し、本番に臨みたいと思います。

(楠田) はじめての協奏曲でとても緊張していますが、グリークの描いた「北欧感」が存分に出来るよう、頑張りたいと思います。

【皆さんへ一言お願いします】

(剥岩) 先生方のご指導のもと、学生オーケストラのみなさんと共に練習に励んでいます。グリークの祖国への愛情を少しでも感じていただけるように頑張ります。

(楠田) 心に響く演奏ができるよう、頑張りたいです。

G・ガーシュウィン…ラブソディ・イン・ブルー

【演奏曲について教えてください】

この曲はアメリカ出身の作曲家ジョージ・ガーシュウィンによって作曲された作品で、ジャズとクラシックを融合させた「シンフォニックジャズ」の代表曲として知られています。今回のような独奏ピアノとオーケストラという編成だけでなく、二台ピアノ版やピアノソロ版、吹奏楽版など様々な編成での編成があり、今日でも演奏される機会が多く、たくさんの方に親しまれている作品です。

【この曲の好きなところ、聴きどころを教えてください】

この曲の好きなところは、後半から少し曲調が変化してクラシック的になる部分です。最初に木管楽器と弦楽器によって演奏されるクラシック的な旋律が印象的で、さらに金管楽器が加わりその旋律が繰り返されます。その後その旋律をピアノがソロで演奏するのですが「やっぱりピアノの音色って素敵だな」と思いながら演奏しています。聴いている方々にもそんなふう感じて頂けるよう演奏したいです。

そして、列車の走行音から着想を得て作曲されたと言われている「カデンツァ」は、聴きどころのひとつだと思います。*1同音連打が印象的で、難しいですがリズムカルで楽しい部分です。また、冒頭のクラリネットソロの旋律が調性を変え、トランペットやピアノで演奏されるため、それぞれの楽器の個性豊かなソロを聴くことが出来るということも魅力のひとつだと思います。

【定期演奏会に向けた意気込みや本番に向けての思いを教えてください】

前回の定期演奏会ピアノの年は、私が短大一年生の時でした。その際に先輩方のコンチェルトを三階席から見ている『私もやりたい!』と憧れを抱き続けていた夢の舞台で演奏させて頂けるということで、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。オーディションの際や日々の練習ではたくさんの温かい言葉をかけて頂き、改めて多くの方々から支えて頂いていることを実感しています。

指導して下さいる先生や支えて下さる全ての方々への感謝の気持ちを忘れずに日々努力し、本番では聴いて下さる方々に楽しんで頂けるよう、自分自身も楽しんで演奏したいと思います。

【皆さんへ一言お願いします】

定期演奏会に向けて、先生方のご指導のもとオーケストラの方々と練習に励んでいます。同じ学校で共に音楽を学んでいる学生の皆さんやお世話になっている先生方、そして剥岩さん、楠田さんと同じ舞台上で演奏させて頂けることに感謝の気持ちを持って演奏したいと思います。この作品の豊かな色彩を楽しんで頂けるような演奏が出来るよう頑張ります。



*1「カデンツァ」…伴奏を伴わず自由に演奏する部分
*2「同音連打」…同じ鍵盤を細かく連打して弾く奏法

Soloist ソリスト

たむら なつみ
田村 捺実
(専攻科2年)

Soloist ソリスト

第1楽章 はぎいわ かすみ
剥岩 霞
(専攻科1年)

第2楽章/第3楽章 くすだ かんせい
楠田 莞晴
(短大2年)

第57回 定期演奏会

日時……10月10日(日)
開場 14:15 開演 15:00

場所……iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ

入場料……500円(全席自由)

演奏曲目……F. スッペ作曲 喜歌劇「詩人と農夫」序曲
佐藤真作曲 カンタータ「土の歌」
E. グリーク作曲 ピアノ協奏曲イ短調作品16
G. ガーシュウィン作曲 ラブソディ・イン・ブルー
G. ガーシュウィン作曲 バリのアメリカ人

出演……指揮: 森口真司
管弦楽・合唱:
大分県立芸術文化短期大学管弦楽団・合唱団

2021.10.10
開場 14:15 開演 15:00
iichiko総合文化センター
iichikoグランシアタ
500円(全席自由)

01

第1回 オープンキャンパスを 開催しました

7月22日(木・祝)、23日(金・祝)の両日、2021年度第1回オープンキャンパスは、昨年に引き続きオンラインでの開催となりました。今年度の全体説明は、国際総合学科2年 大田 著才俊さんにキャンパス内や学長コメント等の取材・撮影・編集をお手伝いいただき、学生目線で本学の魅力を紹介しました。

学科紹介では、それぞれ学科の特色を活かした動画等を作成し、紹介しました。県内外の生徒さん298名に参加いただき、「ミニ講座が面白く、在学生が参加することで、いつもの雰囲気を感じられた」「定期演奏会の映像を見て迫力に圧倒された。ここで音楽を学びたいとあらためて感じた」「コース紹介で、それぞれの内容を在学生が詳しく説明してくれてとても分かりやすかった」などの感想をいただきました。



同時開催の、音楽科「夏期講習会」では、感染防止対策を講じながら、個人レッスンを実施しました。



次回オープンキャンパス、音楽科講習会は9月18日(土)、9月19日(日)開催予定です。

02

国際ボランティア論の講義に 「大分県フィリピン友好協会」 会長をお招きしました

5月28日(金)、国際総合学科の「国際ボランティア論」(担当:光野百代専任講師)授業に、大分県フィリピン友好協会の吉武ロドリガ会長をお招きし、講演いただきました。講演では、設立から25年を迎える友好協会のこれまでの様々な支援活動の紹介、フィリピン国内にある経済格差、日本で暮らすフィリピン人が直面する課題、そうした様々な課題を乗り越えるために必要な助け合いや支援の重要性について話していただきました。



日本とフィリピン両方の国を知る友好協会の知恵と工夫が活かされた一つ一つの支援活動が分かりやすく説明され、学生からはフィリピンの様子や、支援活動の原動力など多くの質問が出されました。吉武会長からは、「国際的に活躍するために行動してほしい」という力強いメッセージをいただきました。また、授業に先立ち、学生有志が集めた古着を友好協会に寄付しました。



03

就職活動 スタートアップ講座を オンラインと対面で行いました

6月から、全学科の1年生に向けた就職活動スタートアップ講座をオンラインと対面で行いました。

2年という短い中で、さらにコロナ禍での就活を乗り越えるために、これから1年生の期間にどのような準備を行うべきか等、現在の全国的な就職活動の動きを踏まえ、学科別の傾向や対策について説明しました。対面に参加した学生から、教職の資格取得に向けた筆記対策等の質問が寄せられるなど、就職活動に積極的に取り組んでいる様子が見られました。1年生の進路支援室の活用は、7月下旬から可能となりました。進路情報メールもどんどん活用してください。



04

専攻科造形専攻の 学生の描いた絵馬が 若宮八幡社へ 奉納されました

5月13日(木)、大分市上野町の若宮八幡社に、本学専攻科造形専攻2年の花野綾香さんが墨で描いた、今年の干支である「丑」の絵馬(縦180cm、横130cm)が奉納されました。若宮八幡社から本学へ依頼があり、日本画を学ぶ花野さんが制作を担当したもので、当日は若宮八幡社で神事とともに設置公開されました。同社氏子総代会の林信一郎さんは「親牛のたくましさやさしいまざしに、親子のあたたかさを感じる絵馬が完成し、とても嬉しい」とあいさつし、完成を喜びました。

花野さんは「牛の陰影や親子の遠近感に気を付けながら制作しました。訪れる人にやさしい気持ちを感じていただけるとうれしいです」と話しました。

この絵馬は年末まで若宮八幡社境内に飾られます。



05

情報コミュニケーション 野田佳邦准教授の 執筆した本が 出版されました

ちよさく犬が答える！ SNS時代の著作権

動画サイトへの投稿、トレパク、オタ活、ゲーム実況など、SNS時代において著作権に関する知識は必要不可欠になってきました。今回の出版では、授業で学生から寄せられた質問約900件のうち100件以上についてQ&A形式で「ちよさく犬」たちが回答しています。ネタも満載で楽しく勉強できる本となっています。

はじめての知的財産調査

「ちょっと調査しておけばトラブルにならずに済んだのに!」ものづくりやネーミングに関わるすべての人に読んでいただきたい知的財産調査の超入門書です。特許・意匠・商標などの権利関係でトラブルになる事例が増えています。が、実は知的財産の調査は誰でも簡単にできます。本書での第一歩を踏み出してみませんか? 書籍はAmazonで取り扱っています。



竹田 キャンパス 通信

竹田キャンパスは、ゼミやサークルでの合宿、創作活動の拠点として竹田市に2010年4月にオープンした、芸文短大と地域との交流の場です

Takeda
Campus

先日、竹田市で制作活動をされている竹藝家の中臣一さん、彫刻家の森貴也さんと一緒に竹田市歴史文化館・由学館にて行われた『I am here Vol.1: 光源』に参加いたしました。竹、鉄、木、布の融合する空間はとても居心地がよく、素敵な展示会となりました。これからもここ竹田キャンパスにて周りの自然からインスピレーションをもらいながら制作に励んでいきます。(非常勤講師 大学OB 前田亮二)



また、こちらのJapan Galleryホームページにて作家紹介をして頂いておりますので是非ご覧ください。
<https://japan-gallery.jp/>

芸短ギャラリー作品介绍



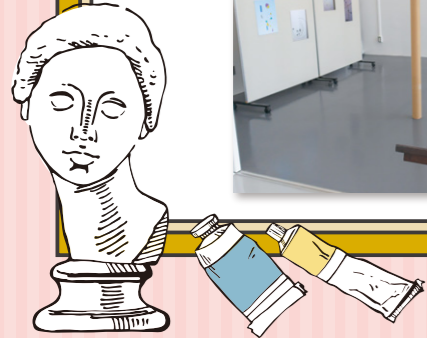
レプリミニッツ 〈7月19日～7月23日〉 美術科 デザイン専攻 グラフィックアートコース



スギのかたち 〈7月27日～8月6日〉 美術科 デザイン専攻 プロダクトデザインコース



モビール 〈7月27日～8月6日〉 美術科 デザイン専攻 プロダクトデザインコース



President's column



学長 小手川 大助 (似顔絵: 学長秘書 高橋梨紗)

今年には本学創立60周年です。私が高校を卒業したのはほぼ50年前でした。50年を振り返ってみると、世の中は便利になったことを実感します。

まず50年前はスマホがありませんでした。友人と待ち合わせをするのは大変でした。遅れたり場所が間違っても確認は不可能でした。当然スマホで情報検索はできません。今はスマホで自分の知らないことをどんどん検索し、新しい知識にできます。メールがなかった50年前は、国内や海外の友人と意見交換するには郵便か電話しか手段がありませんでした。

50年前はコンビニもファミレスもありませんでした。夜になると買い物はできませんでした。セブンイレブンの第1号店が東京にできたのは1974年、日本マクドナルドの1号店が銀座にできたのは1971年、ケンタッキーフライドチキンの1号店が名古屋にできたのは1970年でした。宅急便も「クロネコヤマト」ができたのは1976年で、モノを送ろうと思えば小荷物や手荷物を輸送する手段であった「チッキ」に頼る時代でした。ましてやネット物を買うことは誰も考えていませんでした。



学長コラム

生きる 欣び

60周年の機会に

サービスラーニング報告

サービスラーニングは、「大学で学んだことを地域で活かし、活動することで学びの意義を知る」を目的とした本学の特色ある共通プログラムです。単なるボランティアでは終わらない、主体性・協調性・論理性のある「社会人力」の育成を目指しています。下記イベントにサービスラーニングの一環として、学生らが参加しました。

詳細やほかの活動は、
情報コミュニケーション学科HP
<http://oitapc-cis.jp/>



竹田市で食育ツーリズムを実施しました



7月18日(日)に、大分県竹田市において「食育ツーリズム」を実施し、本学の学生26名が参加しました。例年この時期に開催される「竹田市とうきびフェスタin菅生」は昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響のため中止となりましたが、竹田市の皆様からのご要望と、学生の皆さんへの活動機会の提供、地域を学ぶという観点から実施することとしました。

学生達は、必修科目である地域社会特講Ⅰの授業で竹田市の状況やとうきび(とうもろこし)の生産とブランド化などについて事前に学習してから参加しました。当日は朝8時半から感染症対策のために2つのグループに分かれて、地元の方から教わりながらとうきびの収穫、蒸しとうもろこしや蒸し饅頭など伝統料理を体験しました。

「道の駅すごう」では、収穫したとうきびや加工品を対面販売し、ポップを作成したり、商品を積極的にアピールすることで販売促進に貢献しました。

その後、市中心部に移動し、城下町竹田の観光名所などを案内頂きながら散策しました。各自が後日、観光誘客に向けてSNSで情報発信を行うために、写真や動画の撮影など取材活動を展開しました。

一連の活動を通じて、少子高齢化が進むまちの課題や現状を現場で見て、体験することで理解を深め、これからのまちづくり、農村開発、地域観光、持続可能な農業の在り方を考える良い機会となりました。

「ABC キッズクラブ：自然の楽校」に参加しました



6月6日(日)、ABC野外教育センター主催の「ABCキッズクラブ：自然の楽校」がスタートし、情報コミュニケーション学科と国際総合学科の学生2名が指導員として参加しました。

この活動は、小学1～3年生を対象とした合計8回の日帰りデイキャンププログラムで、第1回目の活動では、ハンモック&トランポリンブランコ遊び、海の環境教育プログラム&ビーチ清掃、泥団子作りクラフト、焚き火おやつ作りを行いました。

参加者全員でのビーチ清掃の後、学生たちが企画したクラフトコーナー「泥団子」を上手に運営するなど、5月の指導員研修の成果を十分に発揮しました。

子ども達が夢中で楽しんでいる姿を見て、達成感もあったのではないかと思います。この活動は12月まで継続されます。

学友会情報

皆さんこんにちは学友会です。今年の芸短祭は10月23日(土)を予定しています。対面でするようにちょっとずつですが準備を始めてます！皆さんにキャンパス内で友達と楽しく過ごせるような時間をお届けできればと思っています。ぜひ楽しみにしてください！！



- (美術科)九州ADCCアワード2021 (BEST100)
- 【カテゴリー賞(学生部門)】審査員特別賞 渡辺弥弥 (デザイン専攻ビジュアルデザインコース(令和2年度卒))
- 「やさしさのかたち」AWARD (審査員特別賞) 田中賞 得丸彪太郎 (デザイン専攻プロダクトデザインコース2年)
- 東京吉岡株式会社主催「ブランドラベルコンテスト(入選)」 得丸彪太郎 (デザイン専攻プロダクトデザインコース2年)
- 第1回倉沢記念館賞コンクール(専攻科) 竹本悠斗(造形専攻美術コース1年)
- 九州ADCCアワード2021 (BEST100) 酒井美玲 (造形専攻ビジュアルデザインコース1年)
- 「草のデザインコンテスト2020 in 東京レザーフエア」プロダクト部門 【佳作】 上堀内駿 (造形専攻プロダクトデザインコース2年)

日々是精進